

岩手県金融経済概況（2024年10月）

1. 概況

県内経済は、緩やかに持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、横這い圏内の動きとなっている。設備投資は、減少している。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

2. 最終需要

公共投資は、横這い圏内の動きとなっている。

先行指標である公共工事請負金額（2024年10月）は、2ヵ月連続で前年を上回った（前年比+14.0%）。

設備投資は、減少している。

2024年9月短観（岩手県）における2024年度の設備投資計画をみると、案件の一巡や慎重な需要見通し等から、製造業と非製造業がともに前年度を下回っており、全産業では前年度を▲24.3%下回っている。

個人消費は、緩やかに回復している。

百貨店売上高（全店舗ベース：2024年9月）は、2ヵ月振りに前年を下回った（前年比▲9.0%）。スーパー売上高（全店舗ベース：2024年9月）は、2ヵ月連続で前年を上回った（同+0.5%）。また、新車登録・届出台数（乗用車<含む軽>：2024年10月）は、2ヵ月振りに前年を下回った（同▲5.5%）。

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に回復している。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

新設住宅着工戸数（2024年9月）は、5ヵ月連続で前年を下回った（前年比▲37.8%）。内訳をみると、持家（同▲16.6%）、貸家（同▲53.1%）、分譲（同▲16.2%）とも前年を下回った。

3. 生産動向

生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。

鉱工業生産指数（季節調整値：2024年8月）は、3ヵ月連続で前月を下回った（前月比▲2.4%）。主な業種の指数をみると、生産用機械、食料品等が上昇した一方、電子部品・デバイス、輸送機械等が低下した。

四半期の動きをみると、2024/4～6月は2期連続で上昇した（2023/10～12月：前期比▲5.5%、2024/1～3月：同+5.4%、4～6月：同+9.6%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

有効求人倍率（季節調整値：2024年9月）は、1.20倍と、前月から低下した（2024年8月：1.21倍）。

雇用者所得（県内合計値：2024年8月）は、名目賃金指数（前年比+3.1%）と常用雇用指数（同+1.4%）がいずれも前年を上回ったことから、8ヵ月連続で前年を上回った（同+4.5%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2024年10月）は、引き続き前年を上回った（前年比+2.4%）。

6. 企業倒産

企業倒産（2024年10月）は、7件、負債総額4,555百万円となった（前年同月は8件、負債総額2,440百万円）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2024年9月）をみると、預金が前年を下回った一方、貸出が前年を上回った。貸出約定平均金利（2024年8月）は横這い圏内で推移している。

以 上

お問い合わせ：
日本銀行盛岡事務所
019-624-3622

<ホームページ>

